



## EICMA 2018: 将来に向けた先進機能にも対応可能な、ボッシュのモーターサイクル&パワースポーツによる技術革新

2018年11月6日

- ▶ 二輪車、パワースポーツ車両、電動スクーター、eBike。ますます広範囲の車両へボッシュのノウハウを拡大
- ▶ ボッシュのテクノロジーにより、二輪車は未来のニーズに即したものに。さらに安全で、効率性に優れ、より楽しく

ミラノ – スマートなアシスタンスシステムから、ネットワーク化ソリューション、そして新たなパワートレインシステムまで、ボッシュは未来の二輪車とパワースポーツ車両のニーズに即したソリューションを取り揃えています。ボッシュにとって、革新的なソリューションやテクノロジーは、いずれも Stress-free(ストレスのない)、Accident-free(交通事故のない)、そしてほぼ Emission-free(排出ガスのない)なモビリティというビジョンの実現化に向けた足がかりとなります。

### ボッシュのブース(ホール 13、ブース G55)のハイライト

#### アドバンストライダー アシスタンス システム:

ボッシュの事故調査報告によると、レーダーベースのアシスタンスシステムを装備すれば、二輪車事故の7件に1件を防ぐことができるとされています。こうした電子制御式アシスタンスシステムは周囲を常にモニターし、緊急時には人間よりも迅速に対応可能なためです。これらのシステムを支えているのは、レーダーセンサー、ブレーキシステム、エンジン制御システムとHMI(ヒューマン マシン インタフェース)を組み合わせた技術です。二輪車のレーダーが二輪車の感覚器官としての役割を担い、これにより新しい二輪車向け安全運転支援機能は二輪車の周囲の状況を正確に把握できるようになります。

#### ボッシュによる アドバンストライダー アシスタンス システムの機能:

##### ACC(アダプティブ クルーズ コントロール)

渋滞の中を走行しながら前走車と適切な車間距離を維持するというのは多大な集中力を必要とし、それが長時間に及ぶと疲労を招くものです。ACCは交通の流れに合わせて車速を調整し、安全のために必要な前走車との距離を維持できるため、前走車との車間距離が不十分だったことによる追突を効果的に防ぐことができます。ACCを装備することにより、ライダーは利便性の向上を感じるだけでなく、特に渋滞時においては走行により集中できるようになります。

### 衝突予知警報

走行中、わずかに集中力が途切れただけでも深刻な結果を招くことがあります。そこでポッシュは、追突事故のリスクを低減、または二次衝突の被害をできるだけ軽減する二輪車向け衝突予知警報システムを開発しました。このシステムは、車両が始動するとすぐに作動し、速度域全体でライダーをサポートします。他の車両が危険なほど接近し、ライダーがその状況に何も対処しないことを検知すると、聴覚的、または視覚的な信号を通じてライダーに警告します。

### 死角検知

このシステムは、ライダーが安全に車線変更できるよう、全方面をモニターします。その際に電子の目として機能するのがレーダーセンサーで、ライダーから見えずらい位置にある対象物を確認し、ライダーの死角に車両が来た際には、バックミラーに視覚信号を表示するなどの方法で警告します。

### ABS(アンチロック ブレーキ システム)の進化:

eBike からパワースポーツ車両まで 1984 年以来、ポッシュは一貫してモーターサイクル用 ABS テクノロジーを開発してきました。そして、性能を高めながら、さらなる小型・軽量化を実現することで、あらゆる地域における全ての二輪車ライダーの走行安全性を高めてきました。欧州連合、日本、インド、台湾、ブラジルなど、世界中のますます多くの国や地域でモーターサイクル用 ABS の装備義務化が既に施行されている、若しくは近い将来施行される予定です。現在では、この安全システムは二輪車だけではなく、パワースポーツ車両や eBike など、ますます幅広い車両に適合可能となっています。ポッシュは、市場初の量産仕様の eBike 向けアンチロック ブレーキ システムを導入しました。この新開発のインテリジェントで革新的なシステムにより、電動アシスト自転車の前輪のロックを防止し、後輪の浮き上がりを抑えることが可能になります。これによって制動距離が短くなり、衝突や転倒事故のリスクも減少します。事故研究者によると、電動アシスト自転車の事故の約 4 分の 1 は、ABS を使用することで回避でき、さらに、重傷を伴う事故数の減少にも貢献するとのこと。

2018 年末までに、特定の市販モデルにて電動アシスト自転車向け ABS が利用可能になります。パワースポーツ車両については、BRP 社との協力により、ポッシュは世界で初めて全地形対応車(ATV)への ABS の適合を実現しました。2018 年と 2019 年モデルの BRP 社のアウトランダー(Outlander)とレネゲード(Renegade)の 2 車種にポッシュの ABS システムが搭載されます。

### e モビリティ向けソリューション:

市街地におけるモビリティソリューションは、柔軟性に富み、安価で、何よりもまず効率性に優れていなければなりません。ポッシュのパワートレインソリューションにより、自転車、スクーター、バイク、三輪車を電動化することができます。これは、自家用車両だけでなく、商用車両にも適用できます。今年の EICMA では、2 つの商用車両向けソリューションが発表されます。最高時速 25 km/h の e カーゴバイクと、最高時速 45 km/h の e カーゴ三輪車です。

ポッシュにとって、e モビリティソリューションは単なるパワートレインシステムだけでなく、それ以上のものをカバーします。ポッシュの電動スクーター統合システムを構成する要素の一つとして、車両情報、ネットワーク化機能、ソーシャルネットワーキングが統合されたアプリがあり、これには2つのインターフェース(航続距離モードとコンパスモード)が備わります。個別の状況下にあるライダーのニーズに焦点を当てた、必要最小限の情報のみ表示するユーザーフレンドリーな設計のアプリにより、ライダーは容易に自身のライディングを管理できるようになります。

## ポッシュのブースでのその他のトピック

### 進化した新しい MSC(モーターサイクル用スタビリティコントロール)システム:

進化した新しいモーターサイクル用スタビリティコントロールシステムは、セミインテグラルまたはフルインテグラル型のシステムとなります。先代の第9世代と比較して、容積は35%、重量は20%の小型・軽量化を実現しました。これにより、二輪車メーカーにとって搭載にかかる手間が軽減される他、より小型の二輪車への搭載も可能になりました。このシステムは、最先端の乗用車向けテクノロジーをベースに開発されたものであり、アドバンスト ライダー アシスタンス システムなどの先進的な機能にも対応できるように設計されています。

ポッシュのブースでワールドプレミアが予定されています。

### エンジン制御システム:

電子式エンジン制御システムは、効率性に優れ、また経済的なテクノロジーの中核となり、これにより二輪車は OBD III を含む Euro 5 や BS 6(バラート ステージ 6)など、近い将来の適用が予定されている排出ガス規制にも対応可能となります。高度に開発されたセンサー技術との組み合わせにより、このエンジン制御システムは従来のキャブレターシステムと比較して大幅な高効率化を実現し、CO2 排出量を最大で16%(状況により異なる)削減することができます。この新しいエンジン制御システムの主な要素となるのは、コントロールユニットです。この小さなコンピュータは、パワートレインセンサーからの全データを分析し、とりわけ点火のタイミングや燃料噴射量を調整します。インドのバラート ステージ 6 のような将来的な排出ガス規制を見据え、ポッシュでは二輪車向けに特別に設計された新しいヒーター付き小型ラムダセンサーを開発しました。ラムダセンサーは、排出ガス中の酸素含有量を測定し、空燃比の最適化に貢献します。

M12 ネジサイズと最適設計された保護チューブによってコンパクトな据付けが可能となり、ヒーター出力も二輪車向けに最適化されています。想定される耐用年数は約10万 km です。この新しいヒーター付き小型ラムダセンサーは、2019年に量産開始となる予定です。

### インテグレートド コネクティビティ クラスタおよび mySPIN:

アドバンスト ライダー アシスタンス システムでは、各種機能を二輪車のライダーに向けて視覚化するにあたり、ユーザーに焦点を当てた HMI(ヒューマン マシン インタフェース)が必要となります。

ポッシュのインテグレートドコネクティビティクラスターは、従来の計器類と広範囲にわたるインフォテインメント機能を1つのデバイスにまとめたもので、Bluetooth経由でライダーのスマートフォンにつながります。ハンドルバーでの直感的な操作により、ライダーは、電話への受け答えや連絡先リストへのアクセス、また音楽を聴くことが簡単に行えます。

mySPIN(スマートフォン統合ソリューション)により、さらなる機能が利用可能になります。ライダーは自身のスマートフォンのコンテンツを二輪車、スクーター、またはパワースポーツ車両に統合できるようになります。完成車メーカーは幅広い選択肢を持つオープンプラットフォームの利用が可能となります。mySPINには外部のアプリ開発者が持つノウハウを活用できる可能性も秘められており、また、そのシンプルな使用感やライダーの注意散漫を招く要素を最小に抑えた設計により、ライダーの走行快適性および利便性の向上に貢献します。

## 報道関係対応窓口

Marco Gardenale

電話: +39 (02) 36962511

## EICMA 2018 におけるポッシュ

- **ポッシュ記者会見: 2018年11月6日(火)、9:30 A.M.~9:45 A.M.**  
ホール 13 のポッシュのブース G55 にて、ポッシュのモーターサイクル & パワースポーツ事業部門トップを務めるジェフ・リアッシュ (Geoff Liersch) による会見

### 世界のポッシュ・グループ概要

モビリティソリューションズは、ポッシュ・グループ最大の事業セクターです。2017年の売上高は474億ユーロで、総売上高の61%を占めています。モビリティソリューションズの売上により、ポッシュ・グループはリーディングサプライヤーの地位を確立しています。モビリティソリューションズは、自動化、電動化、ネットワーク化の3つの領域においてグループの専門知識を統合させ、お客様にトータルソリューションを提供します。その事業領域は主に、内燃機関の燃料噴射テクノロジー/パワートレイン周辺機器、パワートレイン電動化のさまざまなソリューション、車載向け安全システム、ドライバーアシスタンスシステム/自動化機能、ユーザーフレンドリーなインフォテインメントや Vehicle-to-Vehicle (車車間) および Vehicle-to-Infrastructure (路車間) 通信、オートモーティブアフターマーケット向けのリペアショップコンセプト/テクノロジー/サービスなどです。さらにポッシュは、電気駆動マネジメントや横滑り防止装置 ESC (エレクトロニックスタビリティコントロール)、ディーゼル用コモンレールシステムなどの自動車の重要な革新技術を生み出してきました。

ポッシュ・グループは、グローバル規模で革新のテクノロジーとサービスを提供するリーディングカンパニーです。2017年の従業員数は約40万2000人(2017年12月31日現在)、決算報告での売上高は781億ユーロ(約9.9兆円\*)を計上しています。現在、事業はモビリティソリューションズ、産業機器テクノロジー、消費財、エネルギー・ビルディングテクノロジーの4事業セクター体制で運営しています。ポッシュはIoTテクノロジーのリーディングカンパニーとして、スマートホーム、スマートシティ、コネクテッドモビリティ、さらにコネクテッドインダストリーに関する革新的なソリューションを提供しています。ポッシュはセンサー技術、ソフトウェア、サービスに関する豊富な専門知識と「Bosch IoT cloud」を活かし、さまざまな分野にまたがるネットワークソリューションをワンストップでお客様に提供することができます。ポッシュ・グループはコネクテッドライフに向けたイノベーションの提供を戦略的な目標に定め、革新的で人々を魅了する全製品とサービスを通じて生活の質の向上に貢献します。

つまり、ボッシュはコーポレートスローガンである「Invented for life」-人と社会に役立つ革新のテクノロジーを生み出していきます。ボッシュ・グループは、ロバート・ボッシュ GmbH とその子会社 440 社、世界約 60 カ国にあるドイツ国外の現地法人で構成されており、販売／サービスパートナーを含むグローバルな製造・エンジニアリング・販売ネットワークは世界中のほぼすべての国々を網羅しています。ボッシュの未来の成長のための基盤は技術革新力であり、世界 125 の拠点で約 6 万 4,500 人の従業員が研究開発に携わっています。

\*2017 年の為替平均レート:1 ユーロ=126.71118 円

さらに詳しい情報は 以下を参照してください。

[www.bosch.com](http://www.bosch.com) ボッシュ・グローバル・ウェブサイト (英語)

[www.bosch-press.com](http://www.bosch-press.com) ボッシュ・メディア・サービス (英語)

<https://twitter.com/BoschPresse> ボッシュ・メディア 公式ツイッター (ドイツ語)

[www.bosch.co.jp/](http://www.bosch.co.jp/) ボッシュ・ジャパン 公式ウェブサイト (日本語)

<https://twitter.com/Boschjapan> ボッシュ・ジャパン 公式ツイッター (日本語)

<https://www.facebook.com/bosch.co.jp> ボッシュ・ジャパン 公式フェイスブック (日本語)

<https://www.youtube.com/boschjp> ボッシュ・ジャパン 公式 YouTube (日本語)